

【MCI プラス】

認知症の早期発見 MCI スクリーニング検査+MRI 検査

当院では、認知症の前段階である **MCI(軽度認知障害)**を早期に発見できる血液検査「**MCI スクリーニング検査**」を予約制にて行っております。

MCI(軽度認知障害)の早期発見により

認知症の発生を遅らせたり予防できることが可能です。

“最近物忘れが気になる”という方、ぜひお気軽にお問い合わせください。

※50 歳以上が対象です

※健康保険適用外ですので自費診療になります

※完全予約制

【MCI(軽度認知障害)とは?】

MCI(軽度認知障害)とは、健常者と認知症の中間の段階を指します。

日常生活に支障はありませんが、

そのまま経過すると**約 5 年でその半数以上が認知症**に進行すると言われています。

認知症予備軍とも言われている MCI(軽度認知障害)ですが、

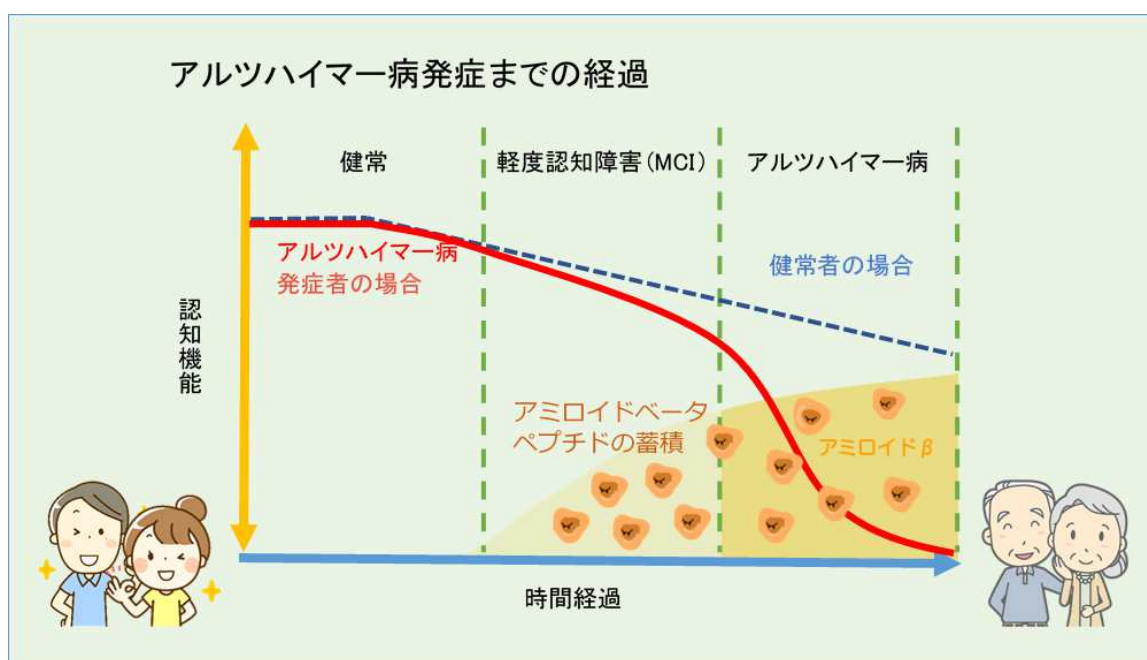
最近の研究では MCI(軽度認知障害)の段階で適切な予防や治療を行えば、

認知症の発症を防ぐことや遅らせることができると分かっています。

認知症の中でも最も多い**アルツハイマー型認知症(アルツハイマー病)**は

発症する約 20 年前から主な原因物質である

アミロイドベータペプチドが脳内に溜まり、認知機能が少しずつ低下していきます。



【5人に1人は認知症に！？】

厚生労働省の発表によると、2025年には65歳以上の高齢者のうち認知症の人は約**700万人(5人に1人)**に増加すると予測されており、認知症予備軍と言われる**MCI(軽度認知障害)**の人は**認知症の人と同数程度**いるとも言われております。

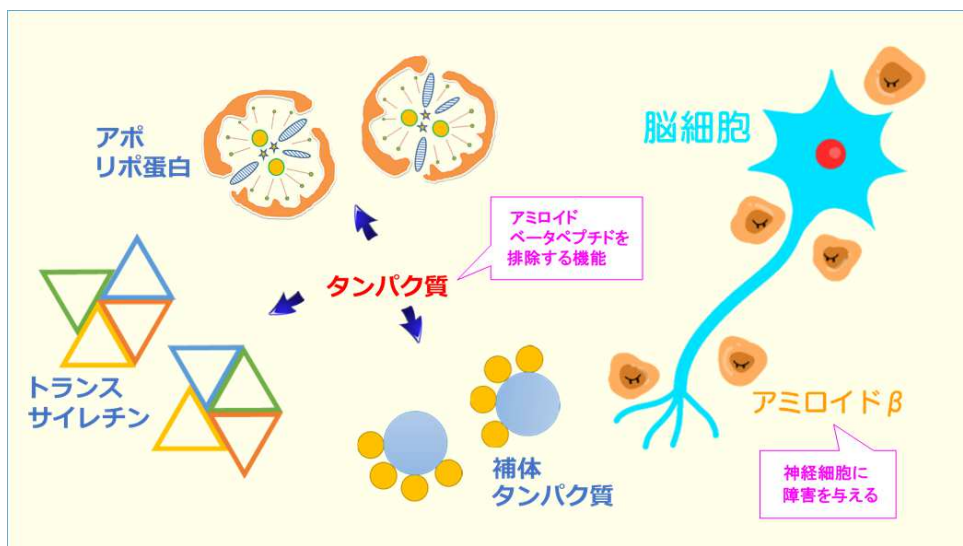
現在、認知症は症状の進行を一定期間防ぐ薬はあるものの、根本的な治療薬は未だ開発中です。**大切なのは発症後の治療ではなく、発症前の予防**です。

認知症は、なる前に予防しましょう！



【MCIを早期発見する「MCIスクリーニング検査」とは？】

アルツハイマー病の**前段階**である**MCI(軽度認知障害)**のリスクをはかる**血液検査**です。アルツハイマー病は**アミロイドベータペプチド**という老廃物が脳に蓄積し、神経細胞を破壊することで発症します。この検査では、アミロイドベータペプチドの排除や毒性を弱める機能を持つ血液中の**3つのタンパク質**を調べることで、**MCI(軽度認知障害)**のリスクを判定します。



【こんな方にオススメの検査です】

健常者と認知症の中間にあたる、**MCI(Mild Cognitive Impairment:軽度認知障害)**という段階(グレーゾーン)があります。
MCI(軽度認知障害)とは、**認知機能に問題が生じてはいますが、日常生活には支障がない状態**のことです。以下が MCI(軽度認知障害)の定義になります。

－ MCI(軽度認知障害) 5つの定義 －

1. 本人または家族から記憶障害の訴え
2. 日常生活動作は正常
3. 全般的な認知機能は正常
4. 年齢や教育レベルの影響のみでは説明できない記憶障害が存在する
5. 認知症ではない

MCI(軽度認知障害)を放置すると、**認知機能の低下が続きます**。

MCI(軽度認知障害)から認知症に症状が進展する人の割合は年平均で 10%とされています。すなわち5年間で約40%の人は認知症へとステージが進行することになります。

- ・もの忘れが気になるなど、認知症への不安をお持ちの方
- ・ご家族のなかに、認知機能の低下や生活の異変が生じていると思われる方がいらっしゃる場合
- ・45～50歳以上の方、自覚症状がない方にもおすすめします

認知症発症の原因物質は約20年前から蓄積されます。健康診断同様に、定期的な検査としてご活用ください。

【早期発見の重要性】

MCI(軽度認知障害)は適切な治療・予防をすることで回復したり、発症が遅延したりすることがあります。

一部の場合を除き認知症は完治できませんが、**早期にMCI(軽度認知障害)に気づき、対策を行うことで症状の進行を阻止**することはとても大切です。

【MCI スクリーニング検査の流れ】

1 回目:問診

検査(少量の採血のみです)

MRI(美原記念病院にて行っていただきます。事前に予約済)

※MRI 検査をする理由

1. 認知症の原因となる脳腫瘍・脳血管障害・水頭症などの可能性を見つける
2. 海馬の萎縮を測定する

2 回目:臨床心理検査(くつろいだ空間で受けていただきます)

3 回目:検査結果を受ける

【検査結果について】

健康診断と同じように定期的に検査を受けることで、ご自身の変化を早い段階で気づくことができます。健康な方でも高齢になるにつれて、認知症や MCI(軽度認知障害)のリスクは自然と高まります。検査の結果に関わらず、生活習慣を改善し、予防に取り組みましょう。

判定結果はリスクに応じて A～D の 4 段階

- A : 1～2 年に 1 回は検査を受けましょう
- B : 1 年毎の定期検診を受けましょう
- C : 6 ヶ月～1 年毎の定期検診を受けましょう
- D : 2 次検査をおすすめします

【料金案内】

1 回目:問診・検査(MCI プラス)・MRI	} こちらをセットで ¥47,000 (目安:他院での脳ドックでの MRI の料金 ¥45,000)
2 回目:臨床心理検査	
3 回目:検査結果	

※当院では MRI 検査も行い、より正確な認知症検査をいたします

※半年以内に MRI を受けている方は省略させていただきます(その場合 ¥24,000～)

※健康保険適用外ですので自費診療となります

また、当院では **ApoE 遺伝子検査** も行えます。

ApoE 遺伝子検査とは、アルツハイマー病や認知機能低下に関与する重要な遺伝子である ApoE 遺伝子の形を調べて、認知症の発症リスクを推定する検査です。

検査は MCI スクリーニング検査と同じ流れで少量の採血のみです。

MCI スクリーニング検査と同時に検査することができます。

ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

※健康保険適用外ですので自費診療となります

※予約制となります